「経営の時代」の羅針盤

最新医療経営

平成30年3月10日発行　通巻404号
毎月1回10日発行　昭和60年1月31日第3種郵便認可
PHASE3
フェイズ・スリー
April 2018 vol.404
4

特集

2018年度診療報酬改定

新・入院料のメッセージを読み解く

病院トップの経営者魂

神野正博

社会医療法人財団董仙会
理事長

「医療職の新しい働き方を提言」

病院新時代

大原綜合病院

一般財団法人大原記念財団

わがまちの医療

第7回 東京都江東区 行政がつくった地域の病院

病院解体新書

社会医療法人秀公会 あづま脳神経外科病院

福島県福島市

TOPICS

患者中心を具現化する新しい地域連携システム

社会医療法人 河北医療財団

東京都区西部地域（杉並区、中野区等）の病院や診療所、薬局、介護施設をネットワークでつなぎ、診療情報などを施設間で共有する「東京区西部ネット」が2018年1月にテスト運用を開始した。電子カルテを前提とせずに医療・介護情報を統合し、多職種間での双方向連携を可能とする同ネットワークは、患者中心の地域医療体制を実現する。

東京区西部ネットは、総務省のクラウド型EHR（医療情報連携基盤）高度化事業を活用。同事業は全国に270あるEHRの多くが一方向の情報閲覧しかできておらず、運用コストが大きいため医療施設や患者の参加率が低く、活用が十分進んでいないことを受けて2016年度補正予算で補助を実施した。

同ネットでは、株式会社ケアコムのグループ会社である株式会社ヘルスケアリレイションズが提供する総合医療介護連携システム「CoEsse（コエッセ）」を導入。同ネット運用の中心となっている社会医療法人河北医療財団の森知夫常務理事は、「地域医療を住民基軸で考えた時、生涯にわたる医療関連情報をデータベース化し、共有することをめざしてきました。これまで日本の医療業界のICTではできなかったことがCoEsseによって実現できるのではないかと考えています」と説明する。

ICT環境の整備前から病診連携システムを構築

河北医療財団は質の高い恕（おもいやり）のある地域医療を担うという目的を掲げ、事業展開をしてきた。医療圏を意識し、どんな医療提供体制を敷くのかを、地域包括ケアシステムという言葉が使われる以前から戦略的に捉えていた。その一例が、1986年に立ち上げた「杉並地域医療システムズ（SRHS）」だ。

河北総合病院と杉並区内の7診療所による病診連携システムであり、ICT環境が整備される前から診療録を共有。また病院をオープン化し、連携医が来院して病院の医師とともに患者を診察し、カ

社会医療法人河北医療財団

1928年に開設。杉並区内に地域の救急医療を担う河北総合病院本院、呼吸器系と腎臓・膠原病系の専門病棟を有する分院のほか、サテライトクリニック、透析センター、訪問看護・訪問リハビリステーション、地域包括支援センター、リハビリテーション病院、介護老人保健施設、健診センターを展開。2016年12月に医療法人財団天翁会を合併、多摩事業部として高齢者医療・ケアサービスを提供する。
https://kawakita.or.jp/

河北総合病院の総合案内の隣に設置された東京区西部ネットの説明カウンター。来院者に参加についての案内を行う

最新医療経営 PHASE3

2018.April Vol.404

平成30年3月10日発行　通巻404号
毎月1回10日発行
昭和60年1月31日第三種郵便認可
定価1296円　本体1200円(税8%)

編集委員
荒井蝶子（国際医療福祉大学保健学部教授）
行天良雄（元・NHK解説委員）
西村周三（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構所長）
【五十音順】

発行人	林　諄
発行所	株式会社 日本医療企画
本社	〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル TEL:03-3256-2861（代表） URL:http://www.jmp.co.jp
【編集部】	TEL:03-3256-2864 FAX:03-3256-0249
【営業部】	TEL:03-3256-2862 FAX:03-3256-2865
北海道支社	〒060-0061 札幌市中央区南1条西6-15-1 札幌あおばビル201 TEL:011-223-5125 FAX:011-223-5126
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町2-5-1 オーク仙台ビル7階 TEL:022-281-8536 FAX:022-281-8537
関東支社	〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル TEL:03-3256-2885 FAX:03-3256-7499
北信越支社	〒920-0024 石川県金沢市西念4-18-40 N・Yビル305号 TEL:076-231-7791 FAX:076-231-7795
中部支社	〒460-0008 名古屋市中区栄2-12-12 アーク栄白川パークビル3階 TEL:052-209-5451 FAX:052-209-5452
関西支社	〒541-0046 大阪市中央区平野町1-7-3 吉田ビル4階 TEL:06-7660-1761 FAX:06-7660-1763
九州支社	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-3-6 第3博多偕成ビル503号室 TEL:092-418-2828 FAX:092-418-2821
編集長	吉澤　理
副編集長	八木一平
スタッフ	藤井弘子
進行管理	秋田穀英
編集協力	松村藤樹（ヘルスケア総合政策研究所） 藤久一夫　清水大輔
デザイン	有限会社アド・クリエーターズ・ホット（尾岸隆夫） 能登谷勇　新井田仁哉
カメラマン	関口宏紀
広告担当	乾　博光　堀江尚代　菊地敦史　谷本　充 金久保　亮
商品管理担当	加藤　明　仁田尾聡　栗田和子　橋本美奈子
営業本部	松村和晃　谷　浩弥　平山翔悟　原田勇貴 斎藤　健
北海道支社	緑川竜二　山下倫子　横尾ゆうこ　柴田広道
東北支社	三浦達哉　浅石翔大　大友　香
関東支社	内林勝美　児島曜介　望月祥平　田所鶴輝 湯本光夫　子安史浩　小林颯太朗　干場一輝
北信越支社	仲丸弘明　増井義嗣
中部支社	吉野直人　杉山光代
関西支社	吉本泰峰　喜津木順子　西田朱美　谷田川　愃 新免郁名子
九州支社	白水和俊　杉安尚子　高場洋士　藤原留美 上津原唯圭
印刷	凸版印刷㈱ 東京都板橋区志村1-11-1

●本誌よりの無断転載を禁じます。
●落丁・乱丁はお取り替えいたします。

次号の目玉企画　3月10日発行

介護医療院の全容を解き明かし その可能性を探る（仮題）

介護報酬の詳細も明らかになり、いよいよ4月から、介護医療院の開設が可能となる。介護療養型医療施設や25対1医療療養病床からの転換が優先されるが、いずれ新設や一般病棟からの転換も可能になる。地域包括ケアシステム構築の「切り札」との期待もあるなか、介護医療院とは何かを明らかにし、「地域経営」的な視点から、その可能性を探る。

編集後記

■平昌冬季オリンピックに熱中した読者諸兄も多いのではないか。かく言う私もテレビ観戦に勤しんだ一人だ。そしてテレビの前で「スキー再開しようかな」などとつぶやく。JR東日本のポスターが頭を過ぎり、「私をスキーに連れてって！」。さて、私はただいま何歳になるでしょうか。（吉澤）

■1968年から86年まで、阪神タイガースには川藤幸三という選手がいた。通算打率.236出場は771試合。それでも18年間も現役生活を続けられたのは、数字以外の貢献が認められていたからにちがいない。それを「可視化」するのは簡単ではないが、経営を考えるうえで不可欠な視点だろう、とも思う。（八木）

■取材で福島県を訪れた。仙台から車で移動途中に白鳥の群れが空を舞う姿を見て感動し、山々の美しさには思わずため息が出た。何よりも心を打たれたのは会う人々の清々しさ。温かい気持ちに包まれ、寒さも吹き飛んだ。一方で、汚染土のフレコンバッグの黒い山を見かけ、暮らすことの厳しさを思った。（藤井）

■川崎市で開催中の「みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展」にこれから向かいます（from北海道）。氏は子供の頃、家に遊びに来る友達を楽しませるために自らスクラップブックを制作し、いろいろ意見をもらって刷新を図っていたそう。すでに読者目線を意識していた早熟さ。大いに見習いたい。……。（横尾）

定期購読のご案内

最新医療経営フェイズ・スリーを毎月確実にお求めいただくには定期購読がおすすめです。
富士山マガジンサービスからお申込みください。

定期購読 選べる2つのコース

■①年間購読コース
年間12冊（15,552円/消費税込み　送料無料）
6冊（ 7,776円/消費税込み　送料無料）

■②月額払い購読コース
1冊（ 1,296円/消費税込み　送料無料）

■ お支払方法
各種クレジットカード・コンビニ決済・銀行ATM・ネットバンキング・Edy
■ お申込み方法
電話でのお申込み　0120-223-223
インターネットからのお申込み　http://fujisan.co.jp/pc/jmp

最新医療経営フェイズ・スリーの定期購読申込ページにはこのQRコードからもアクセスできます。

【個人情報の利用目的について】
フェイズ・スリー編集部では、読者からお預かりした情報は以下の目的で利用させていただくことがあります。
●編集記事作成のための取材　●アンケート調査の実施　●プレゼントの商品などの発送
●希望者に対する掲載企業・団体からの資料・商品などの送付

【個人情報の第三者への提供について】
フェイズ・スリー編集部では、利用者本人の承諾がない場合、登録された個人情報を第三者に開示することは、正当な理由がない限りいたしません。ただし、本人の希望により資料・商品などの請求があった場合（プレゼントの当選など）、資料・商品などの提供先の企業・団体に個人情報を提供することがあります。この場合、当編集部では企業・団体などの個人情報の利用に関しては責任を負いかねます。

ンファレンスなどを行っていた。医療提供側の都合ではなく、患者情報の標準化、「1住民1カルテ」により地域住民本位のシステムとしてつくられた。この取り組みを発展させる形で展開しているのが、2011年に運用開始した「河北医療財団地域連携システム・KHCNet」である。

KHCNetは、会員となった病院、診療所、保険薬局に河北総合病院の電子カルテの情報を公開、診療情報を参照可能とするもので、現在の登録数は2病院、42診療所・21薬局。登録患者数は3827人（18年1月10日現在）に上る。

ただ、KHCNetについては前述した一方向の情報閲覧しかできないという従来型EHRの課題と、電子カルテを導入する施設以外では情報共有ができないことや医療と介護の情報が分散しているといった改善点がある。「ICTはツールなので使い方が重要だが、電子カルテは紙カルテの仕組みをそのまま電子化しただけなので、1住民1カルテを実現する道具としては一般的に使い勝手が悪いです」と森常務理事は指摘する。

「病院というのは来院患者の延べ人数はわかりますが、どの地域の患者さんが何人来ているかの把握はできていません。当法人でも一部の施設で患者IDを統合し、年間の外来患者数の数字を出せるようにするまで10年ほどかかりました。一般企業ではカスタマーをどう見るか、CRM（顧客関係管理）は当然のこと。医療提供側からしかものを見ていないのがカルテだと言えます」

さらに、国全体の社会保障費の抑制のため、医療機関・システムベンダー双方のさらなる努力が必要な点について、森常務理事は次のように話す。

「医療機関はICT導入による生産性向上＝働き方改革を進めなければなりません。一方、病院の医業収益から考えると電子カルテの導入やシステム間の連携費用は高額で、経営への負担が大きい。医療システムベンダーは、この点で企業努力が必要だと考えます」

クラウドでコスト低廉化 双方向での情報参照を実現

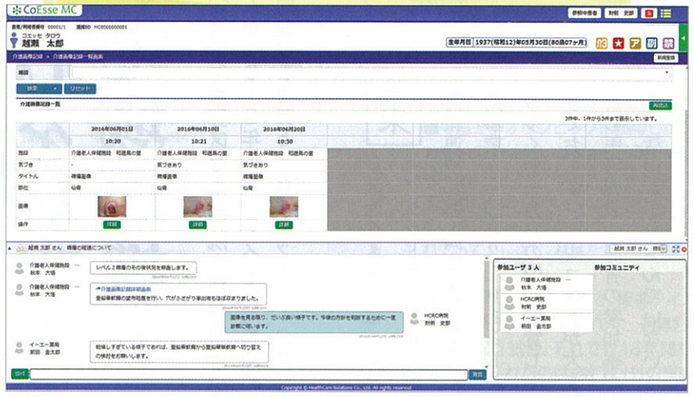
東京区西部ネットはクラウドの活用で双方向の情報参照を可能とする。電子カルテ未導入の施設ともレセコン、PACS、検査システムなどの情報を共有。クラウドの活用、標準準拠によりコストを低廉化、データを広域利用できる。そのため病院と診療所間だけでなく歯科診療所や薬局、介護施設との多職種連携を促進。患者の医療・介護に関する情報は一画面で表示、掲示板やチャット機能なども備えており、医療・介護の垣根を超えたコミュニケーションツールにもなる。18年3月までに2万2200人以上の同意書と45施設の参加同意の取得をめざす。

河北医療財団医療支援部の江間司副部長は「一人の患者さんに対して医療保険、介護保険の両方に対応できるシステムを探したことがありますが見つかりませんでした。CoEsseは医療と介護の情報が同一画面内に、時系列に並べられるところ、電子カルテだけでなく介護や健診情報まで共有できるのが画期的です。ただ現在では、KHCNetにしか河北総合病院の予約機能がないので、機能の統合などは今後進めていかなければならないと思います」と話す。

同法人ではCoEsse、KHCNetのほか、東京都医師会の「東京総合医療ネットワーク」を導入しており、それぞれの特色を活かした使い方を模索する（表）。「地域医療システムは扱うデータの種類や置き方、捉え方、つなぎ方などがシステムによって異なります。CoEsseは扱えるデータの領域が広く、双方向でのやり取りができることが利点ですね。集まった患者データの活用については考慮中ですが、地域住民の健康生活支援などと連動させることで、この地域で住民が快適に暮らせる環境づくりを進めていくことが我々の使命です」と森常務理事は力を込める。

［CoEsseの特長］

1. 双方向の情報参照
2. 多職種間の情報共有・伝達
3. 一画面で医療・介護情報を参照
4. 電子カルテ不要で自院情報を開示
5. 職種ごとのビュー設定



CoEsseのコミュニケーションボードでは患者の画像データを見ながらチャットによる情報共有が可能

森知夫常務理事

江間司・医療支援部副部長

表　東京都区西部ネットと東京総合医療ネットワーク、KHCNetの比較

	総務省クラウド型EHR高度化事業 東京区西部ネットワーク	東京都医師会 東京総合医療ネットワーク	河北医療財団地域連携システム KHCNet
医療情報の標準化	SS-MIX2（注1）、IHE標準（注2） 記述内容の詳細についても標準化を指向	SS-MIX2、IHE標準	SS-MIX2、IHE標準
連携施設	病院、医療診療所、歯科診療所、 調剤薬局、介護施設	病院、医療診療所	1病院と複数の医療診療所、保険薬局
参照・更新機能	参照、更新	参照	参照
データの所在	クラウド上のDCに集中	個々の施設（サーバ・クラウド）	富士通のDC（クラウド）
連携の形態	複数対複数	複数対複数	1対複数（63カ所）
データの種類	電子カルテ、レセプト、画像、検査、介護	電子カルテ	電子カルテ
データ発生	電子カルテ非依存	電子カルテ前提	電子カルテ前提
データ参照画面	医療情報と介護情報を同一画面に表示、 コミュニケーションも可能	それぞれの地域連携システムの画面に 診療履歴を一覧表示	河北総合病院の電子カルテの内容を参照
参照可能な データの種類	入院実施／取り消し、退院実施／ 取り消し、アレルギー情報の登録／ 更新、病名情報の登録／更新、処方オーダー、 注射オーダー、注射実施、検体検査結果、 経過記録、各種レポート、画像、介護情報	処方オーダー、注射オーダー、検体検査結果、 入院実施／取り消し、退院実施／ 取り消し、アレルギー情報の登録／ 更新、病名情報の登録／更新、検体検査結果	入院実施／取り消し、退院実施／ 取り消し、アレルギー情報の登録／ 更新、病名情報の登録／更新、処方オーダー、 注射オーダー、注射実施、検体検査結果、 経過記録、各種レポート、DICOM画像
個人特定（名寄せ）	患者基本情報と被保険者番号を使い 95%以上自動化	医療等ナンバーの動向をみて自動化、 当面は人的対応	不用
パッケージほか	CoEsse	Human Bridge、ID-Link、その他	Human Bridge
利用想定画面	在宅診療、地域医療連携、災害医療	救急、災害医療	地域病診連携、災害医療
事業化	受益者負担を基本に事業運営を前提	東京都病院協会が事業運営	運営費は河北医療財団が負担

注1 SS-MIX2：「厚生労働省電子的診療情報交換推進事業」（Standardized Structured Medical Information eXchange）において策定された、医療機関を対象とした医療情報の交換・共有のための規約のこと。主にデータを格納する場所の標準化　注2 IHE：Integrating the Healthcare Enterpriseの略で、医療情報システムの相互接続性を推進する国際的なプロジェクト

株式会社ヘルスケアリレイションズ
（ソフトウェア開発）
HealthCare Relations Co., Ltd.
A CARECOM Company
東京都調布市多摩川3-35-4
TEL：042-485-7130
http://hcr.co.jp/

株式会社ケアコム（販売）
ケアコム
＜東京オフィス＞
東京都千代田区神田錦町3-13-7
名古路ビル本館1F
TEL：050-3816-6300
https://www.carecom.jp/